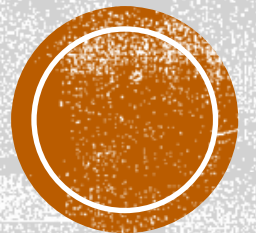
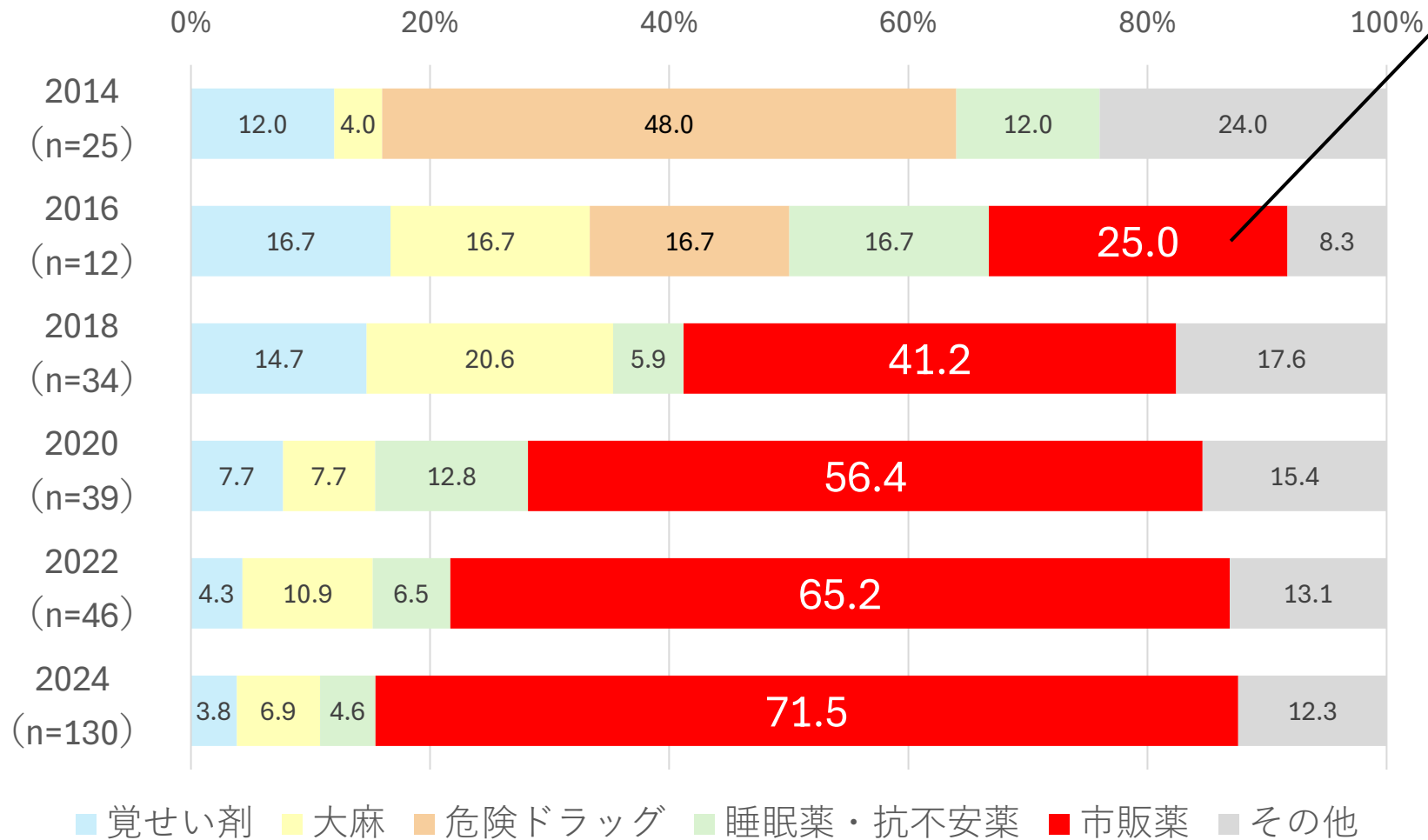


10代の市販薬オーバードーズの現状と課題

東奥義塾中学校・高等学校
養護教諭 中村元気



全国の精神科医療施設における薬物依存症の治療を受けた
10代患者の「主たる薬物」の推移



- ・女子に多い
- ・希死念慮高い

中学生の
約55人に
1人が
市販薬ODを
経験

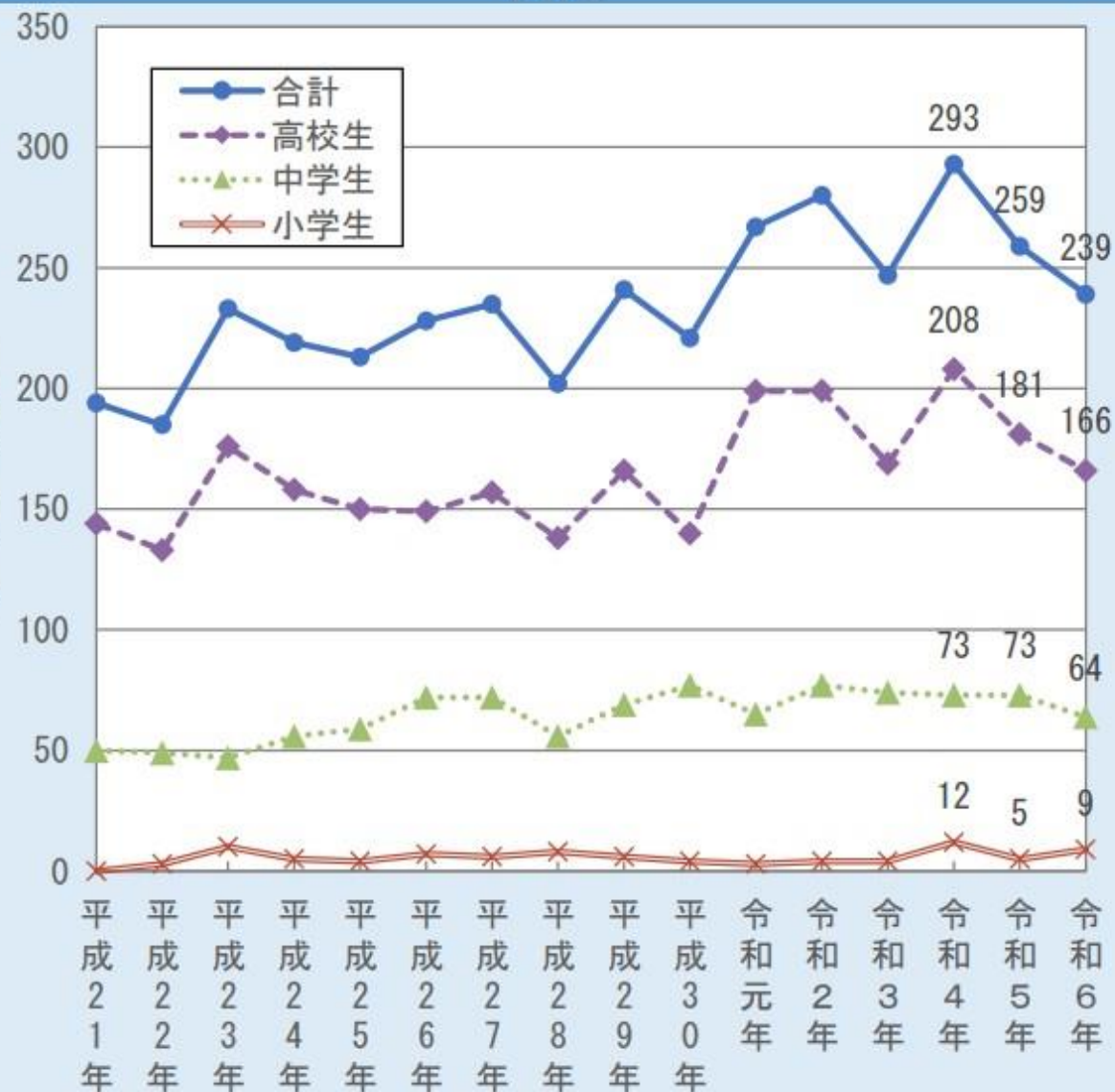
出典：飲酒・喫煙・薬物乱用についての全国中学生意識・実態調査（嶋根,2024）

出典：全国の精神科医療施設における薬物関連精神疾患の実態調査（松本,2024）

小中高生別・男女別の自殺者数の推移

男性

自殺者数(人)



女性



現状の予防策

薬物乱用防止教室における有害性の周知

薬のパッケージへのリスクの記載

啓発メッセージの発信

ドラッグストアでの販売個数制限

薬剤師・登録販売者による販売時の声掛け

相談機関での支援体制の強化



効果は限定的…

今後展開されてほしい予防策

行政

- ・ 乱用リスクの高い薬を第1類に変更
- ・ 乱用リスクの高い薬の販売禁止 or 医療機関限定の処方に戻す

企業

- ・ コンソーシアム(共同事業体)を組み、他社間でも同一購入者が分かるシステムを構築
- ・ ODしづらい売り方(ビン×、小粒×、大容量×)

学校

- ・ セーフティネットとしての機能の強化
- ・ ソーシャルスキルの育成

相談機関

- ・ アウトリーチ支援の強化

